

ナンバリング	B①11	科目名	保育内容総論
担当形態	単独	担当教員	郷家 史芸
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	なし		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で学んだ保育内容5領域に加え、「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「環境を通して行う保育」と実習での経験との関連性を理解し、説明できる。 ・保育の計画をたて、援助の見通しを持ち、説明できる。 ・保育を振り返る姿勢を持ち、自身の実践について説明できる。 		
授業の概要	<p>1年次の「保育内容」の授業では子どもの生活や遊びについて領域の視点からみることを行ってきましたが、「総論」では保育内容を領域の視点に加え、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、保育環境などの視点を踏まえながら総合的にとらえていきます。また、日本の保育の基本である「環境を通して行う教育(保育)」について具体的に再確認します。主な授業方法は学生の実習での事例をもとにグループディスカッションを中心に行います。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、保育内容について振り返る</p> <p>第2回 幼稚園教育の基本について</p> <p>第3回 環境を通した保育について</p> <p>第4回 養護と教育の一体性について</p> <p>第5回 育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について①</p> <p>第6回 育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について②</p> <p>第7回 子どもの育ちと保育内容について①</p> <p>第8回 子どもの育ちと保育内容について②</p> <p>第9回 保育内容と指導計画の作成・展開・評価①～理論～</p> <p>第10回 保育内容と指導計画の作成・展開・評価②～実践～</p> <p>第11回 家庭・地域・小学校との連携と保育内容</p> <p>第12回 特別な配慮を要する子どもの保育</p> <p>第13回 多文化共生の保育</p> <p>第14回 実習をそれぞれの観点から振り返る</p> <p>第15回 まとめ</p>		

準備学習と必要時間	事前学習として事例を提示しますので自分なりの考えをまとめてきてください。こちらは予習として60分以上行ってください。				
評価方法	授業での取り組み(グループディスカッションへの積極的な参加) —40% レポート課題 —60%				
参考文献	授業中に適宜示します。				
特記事項	パソコンと幼稚園教育要領解説を持参してください。				
課題へのフィードバック方法	感想について、次の授業のテーマのきっかけとなるようなものは全体で共有できるよう授業のはじめに紹介します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	領域及び保育内容の指導法に関する科目・健康
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
教員の実務経験	(郷家)認定こども園での勤務経験を活かし、子どもの遊びに関して深く考察し、実践的に授業を行います。				